

民泊で日本の習慣と文化に触れる
韓国青年訪問団民泊体験



▲竹の器で流しそうめんを楽しむ韓国の高校生

7月29日から31日まで、日韓文化交流基金(東京)の青少年交流促進事業の一環として韓国の高校生66人が新和町と宮地岳町に分かれて民泊し、日本の田舎暮らしを体験しました。各家庭では、一緒に料理を作ったり、カードゲームを楽しんだり、思い思いの時間を過ごしました。新和地区では流しそうめんやスイカ割り、こっぱ餅づくりなどを体験。海水浴で天草の海も満喫していました。

地域の夏の風物詩
上津浦夏祭り



▲盆踊りを踊る園児たち

8月13日、有明町の上津浦グラウンドで「上津浦夏祭り」が開かれ、帰省客や地元住民など約600人が集まりました。同地区振興会が毎年開催しているもので、今年で15回目。地元の保育園児による盆踊りやカラオケ大会、太鼓の演舞などが行われたほか、綿菓子やかき氷などの屋台も並び、会場はにぎわっていました。来場者は、「とても盛り上がり楽しかったです」と話していました。

市庁舎の建設工事始まる
市本庁舎工事安全祈願祭



▲刈初の儀を行う中村市長(右)と協島市議会議長(左)

7月26日、東浜町の市役所本庁舎建設予定地で新庁舎建設工事の安全祈願祭が行われ、来賓や工事関係者ら約100人が参加しました。シンプルで機能的、災害時の拠点施設となる新庁舎をコンセプトに、平成31年2月末の完成、4月開庁を目指します。

中村市長は、「市民の皆さまにご不便をおかけしますが、引き続きご理解とご協力をお願いします」とあいさつしました。

福祉の現場を体験
小・中学生ワークキャンプ事業



▲福祉車両を体験するようす

8月8日、栖本町の小・中学生31人が、同町の介護福祉施設や保育施設で体験学習をするワークキャンプに参加しました。介護や福祉に興味を持ち、相手の気持ちを考えて行動したり、ボランティア活動に取り組む習慣を身につけてもらおうと市社会福祉協議会栖本支所が実施しているもの。

介護福祉施設では、車いすに乗ったまま車に乗れる福祉車両を体験していました。

イベントカレンダー

- 1(金) 御所浦白亜紀資料館特別展【～9月3日】
「恐竜展 トリケラトプスの仲間とその進化」
「第19回 恐竜絵画コンテスト作品展」同時開催
9:00～17:00(御所浦白亜紀資料館)
- 2(土)
- 3(日) 天草市一斉避難訓練
9:00～(各避難場所)
- 4(月)
- 5(火)
- 6(水)
- 7(木)
- 8(金)
- 9(土)
- 10(日)
- 11(月)
- 12(火)
- 13(水)
- 14(木)
- 15(金)
- 16(土)
- 17(日)
- 18(月) 敬老の日
- 19(火)
- 20(水) 女性のための無料法律相談
10:00～12:00(市男女共同参画センターぽぽらす)
- 21(木) 秋の全国交通安全運動【～30日】
- 22(金)
- 23(土) 秋分の日
- 24(日) 牛深総合センター自主文化事業
松竹特別講演「牡丹燈籠」
14:00～(牛深総合センター)
- 25(月)
- 26(火) 天草文化交流館「水墨画作品展」【～10月5日】
9:00～17:00(天草文化交流館)
- 27(水)
- 28(木) 天草アーカイブズ企画展
「再発見!天草地図紀行」【～10月5日】
9:00～17:00(天草市民センター)
- 29(金)
- 30(土)

Contents 主な内容

- 3 宝島のわだい
- 6 天草ほんどハイヤ祭り
- 8 目指せ!元気高齢者
- 12 変わる子どもたちの放課後
- 15 あまくさん/スポーツ大好きっ子
- 16 みんなの広場
- 18 Ama-biZ通信
- 19 暮らしの情報
- 28 市民のひろば
- 33 健康ごよみ
- 34 天草の潮汐/行政相談所を開設
- 35 休日在宅病・医院/献血日程/水道修繕当番店
- 36 いきいき健康

人のうごき		7月31日現在	
7月中の異動		※()内は前月比	
人口	82,952 (69減)	出生	37人
男	38,884 (25減)	死亡	98人
女	44,068 (44減)	転入	103人
世帯数	37,319 (14減)	転出	111人

問い合わせ先

本庁	天草市役所・市庁舎別館 ☎291111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支所	牛深 ☎732111・有明 ☎531111 御所浦 ☎672111・倉岳 ☎643111 栖本 ☎663111・新和 ☎462111 五和 ☎321111・天草 ☎421111 河浦 ☎761111

ニュースポーツで交流を深めました 棚底地区振興会世代間交流事業



▲囲碁ボールのようす

7月30日、倉岳多目的研修会施設で「世代間交流事業」が行われ、小学生から高齢者まで52人が参加しました。棚底地区振興会が、交流を通じて住民同士が顔見知りになり、あいさつや助け合いができる関係を築くことを目的に毎年開催しているもの。

今回は、囲碁ボールやカロリングなどのニュースポーツで交流を深め、参加した高齢者は、「子どもから元気ばもろた」と笑顔で話していました。

真夏に新成人の誓い 牛深地区成人式



▲再会を喜び浴衣姿で「はい、チーズ」

8月16日、「牛深地区成人式」が牛深総合センターで開かれ、スーツや浴衣などを着た新成人109人が出席しました。昭和49年からお盆の帰省時期に合わせて毎年開催しているもの。式典では、新成人を代表して西勇吏さんが、「社会人としての責任を胸に、勇気と信念を持って行動することを誓います」と宣言。式典終了後、新成人は記念撮影をするなど、久しぶりの再会を楽しんでいました。

大人に負けないぞ！ 天神山祭り



▲相撲のようす

7月23日、五和町の高天神山山頂で天神山祭りが行われ、鬼池地区の子どもから高齢者まで約150人が参加しました。同地区区長会が中心となり毎年開催しているもので、神事や相撲、餅投げ、ゲームなどを実施。

わらを敷き詰めた土俵では、子どもたちが次々と大人に勝負を挑み、観客から歓声が上がっていました。相撲に参加した子どもは、「楽しかった」と笑顔で話していました。

自分で作るとおいしいね！ 志柿地区おやこ料理教室



▲食材を切る子どもたち

7月30日、「おやこ料理教室」が志柿地区コミュニティセンターで行われ、8組の親子が参加しました。夏の思い出づくりと親子の会話を増やしたいと昨年からの地区振興会が実施しているもの。地域の食生活改善推進員と一緒に「お魚ハンバーグ」や「夏野菜いっぱいトマトスープ」などを調理。参加した親子は、「魚を切るのが難しかった」「家でも作ってみたい」と話していました。

地引網にお魚いっぱい！

御所浦北地区子ども会「地引網漁体験」



▲魚を捕まえて笑顔の中学生

御所浦北地区子ども会が7月30日、同地区の海岸で地引網漁を実施しました。海に仕掛けた網を引き上げて魚を捕る「地引網漁」や地元で捕れる魚を子どもたちに知ってもらおうと企画したもので今年で2回目。

保育園児から中学生までの子どもや保護者など約100人が参加し、網の中のタコやタイなどを楽しそうに捕まえていました。捕った魚は、塩焼きなどにして食べたそうです。

ふるさとへの思いに応えます

墓守・家屋周り清掃サービス



▲墓掃除をするようす

下田南地区振興会が、遠方に住み墓や実家の掃除ができない人に代わって掃除を行うサービスを今年から始めました。これは、地区内に墓や家屋を持ち、同地区振興会を指定してふるさと応援寄附金をした人へのお礼品のひとつで、墓または家の周りを年に3回掃除してもらえるもの。今年は墓と家周りの掃除にそれぞれ1件の依頼があり、お盆を前に同振興会会員が、草を刈ったり落ち葉を掃くなど、心を込めて作業していました。

音楽で心豊かに

こども音楽会



▲演奏に合わせ元気に歌う園児たち

7月29日、河浦町の一町田保育園で、国内外で活躍する楽団「ゾリステン・ドライエック」を招いて「こども音楽会」が開催されました。プロの生演奏を聴いて心豊かに育って欲しいと、同保育園と崎津保育園が初めて合同で実施したもの。

音楽シアターやアニメソングなど12曲が披露され、参加した園児と保護者約170人は、歌ありダンスありで見て聴いて楽しいひとときを過ごしました。

災害時に水を届けます

ふるさと応援寄附金で給水車を購入



▶水タンクに給水する職員

市はふるさと応援寄附金を財源に1,700リットルを運搬できる給水車を購入し、7月25日に本渡浄化センターで納車式を行いました。山間部での給水も可能とするため小回りの利く2トン車をベースとした車両を採用。小口給水口が4つあり、加圧ポンプの搭載でビル8階まで給水ができます。

自然災害などでライフラインが遮断されたときなど現地へ水を供給できるほか、水道設備の故障などによる断水にも対応できます。